

感動いっぱい 夢いっぱい

平成29年7月19日 No. 13

明日から夏休みです。子ども達にとっては待ち望んでいた日々でしょう。でも、保護者のみなさんにとっては、子どもが休みというのは、安全面での心配事にもつながります。しかし、この期間ならではできること、ご家庭で子どもと過ごす時間を少しでも増やすこと、子どもにたくさんの経験をさせることを意識していただければと思います。

でも、やはり「小言が多くなるかもしれない…」

「一をもって、十を知る」これは、とても頭がいいことを表現したことわざですが、私は、その言葉をもじって「1つ徹底すると、10よくなる」（私の造語です）が効果的な方法だと実感しています。

「はき物の整頓」は、どのクラスも生活指導の重点として行ってきました。効果として

- ・落ち着いて教室に行くことができた。「はじめ」「落ち着き」
- ・友だちのくつがそろっていなかったら、進んでそろえる事ができた。次に使う人のことを考えて揃えることができた。

「進んでよいこと」「やさしさ」「思いやり」

- ・見た目にきれいなので、みんなが気持ちよくなる。

等、はき物一つとっても学ぶことが多いです。ですから、この一つのことを繰り返しました。

はき物の整頓一つでも「きっちり」とできるようになると、教室のロッカーや机の中が気になってくるはず。きちんと服を着たり、身なりを整えたりする習慣がついてくると期待しています。それが、家の玄関のくつや自分の部屋の整頓につながっていけばうれしいのですが・・・くつの整頓の意識があるのですから、他の整頓でできていないところが気になり、自分で直すことができるようになって考えています。「10よくなる」ということです。

お願いしたいのは、玄関のくつや部屋の整頓などが、以前より少しでもきちんとできたら、しっかりとほめてください。言われてできるのではなく、自主的にしたので、お子さんが成長したということです。

あれもこれもと要求すると小言が多くなり、親も子どももよい気持ちになりません。本当に大切なことをしぼって、それを繰り返す言うことです。（「でも、思い通りには？」わかります。根気よくがんばりましょう。）

第1学期終業式 7月19日（水）

始業式では、「友だちと仲よくする」「勉強をがんばる」と、ドラエモんの例を出し、子ども達に話しました。終業式は、マルチメディアで、1学期の子ども達のがんばっている姿を映し出ししながら、2つの目標と1学期のみんなのがんばりを振り返りました。たった、3ヶ月半ですが、どの児童も確実に成長している様子を感じました。

（終業式・代表の言葉）

- ・ 1がっきにがんばったことは、すいえいです。さいしょは、かおつけをするのもふあんでした。でも いまでは、らっこうきや、あめんほうもできるようになりました。

水えいが、だいすきになりました。だから、なつのすいえいきょうしつも がんばりたいです。（1年 U・R）

- ・ ぼくは、3年生になって、がんばったことがたくさんあります。

行事では、運動会のダンスと組体そうをがんばりました。本番でぜったい成こうさせたかったので、練習をがんばりました。家や休み時間にも、たくさんれんしゅうをしました。本番がおわって、お母さんとお父さんが「すごよかった。かっよかったよ。」

といってくれたので、うれしかったです。また、来年もみんなで成こうさせたいです。

べん強もがんばりました。プールもがんばりました。顔つけやうくこともできるようになり、7m泳げたのがうれしかったです。できることが、いっぱいふえた1学期でした。（3年 H・S）

- ・ 6年生になってから今日まで、たくさんの場面で思い出をつくることができたと思います。

特に心に残ったのが、運動会と読書週間です。

運動会では、準備係でした。用具を置く場所を間違えないように、気をつけました。組体操では、土台になり、歯を食いしばりながら一生懸命がばって、成功させることができてよかったです。

読書集会では、ブラックライトパネルシアターの出し物をがんばりました。最初は、セリフが覚えられず上手にできませんでした。でも、こんなことではいけないと思い、家で自分のセリフを何度も読み返し練習をしました。努力した結果、みんなが「きれい！」といってくれて、うれしかったです。

2学期の目標は「人のために自分にできることがないか考えて行動する」ことです。目標に向かってがんばります。（6年生 K・M）



練習を重ね暗記しての発表です

「あゆみ」について

どの子どもがんばりました。その上で「次はここもがんばってごらん。」という気持ちでお渡ししています。



1年生にとっては、初めての「あゆみ」になります。「自分の小学生の頃とずいぶん違う」「見方がわからない」と感じる保護者の方もおられることでしょう。「観点別」の「絶対評価」になります。

「観点別」というのは、各教科2～5つ欄があります。同教科でも内容で、評価が違ってきます。例えば、算数科なら、1段目「関心・意欲・態度」2段目「数学的な考え方」3段目「数量や図形についての技能」4段目「知識・理解」になります。（文章の内容は学年によって違います。）「絶対評価」というのは、個人がどのくらい理解できているかを示す評価のことです。反対の意味の言葉として「相対評価」があります。「相対評価」は、クラス内や学校内での順番をもとにした評価になります。

「観点別評価」の長所は、児童の得意な面、苦手な面がわかることです。例えば「数学的な考え方」の力を伸ばすには、考え方の説明ができるようにしたり、文章問題をする事で筋道を立てて考えたりすることをめあてに勉強するといいいでしょう。「技能」の力を伸ばすためには、計算ミスを少なくしたり、速く計算をしたりすることをめあてに、繰り返し計算練習に取り組むとよいと思います。

夏休みや2学期からの、学習の目標につながって欲しいと思います。また、「生活の様子」で○がついている項目は、**とてもよくできているところです。**「よく責任を果たしているね。」「友達と仲よくできているね。」と「学習の様子」以上に、**しっかりほめてくださればと思います。**

安全な夏休みに

6週間余りの長い夏休みが始まります。次に全員そろうのは、8月28日の授業日です。たくましくなった子どもたちに会えることを楽しみにしています。

「規則正しい生活習慣」と「安全安心な生活」ができるようお願いします。

まず、「早寝・早起き・朝ごはん、きめた時間に勉強」という習慣が大切です。リズムが崩れると、子どもは元に戻しにくいです。特に7月中は、水泳教室や特別練習などがあります。宿題をいつするかをきめることです。

でも、何よりも大切なこと。それは「安全・安心な生活」です。交通安全・不審者からの安全・家に帰る時間を守り心配をかけない事などです。

県道の交通量が、朝・晩とても増えていることはお感じだと思います。逆に、昼は交通量が少ないので、車はかなりスピードを出しています。（先日は昼に、警察の取り締まりがありましたが、多くの車がスピード違反で捕まっていました。）子ども達も一緒です。交通量が少ないと油断をして、交差点で左右の確認をしなかったり、スピードを出して自転車に乗りたりしがちです。特に、自転車に乗れるようになったばかりの児童は、うれしさから行動範囲がひろがったり、運転の未熟さから転倒して怪我をしたりすることがあります。注意をしないとイケません。「家のまわりで乗る」あるいは「大人の人の見ている前で乗る」を守って欲しいと思います。



また、遊びに行くときには**「誰と、どこに遊びに行って、〇時までにかえる。」**ということ、伝えるかメモに残して外出するように、指導しています。以前、7時半になっても子どもが帰ってこなかった時に、保護者と相談して、警察に通報したことがあります。警察からは**「通報が遅すぎます。心配になったらすぐに通報してくれて構わないのです。」**とお叱りを受けました。**「親は約束の時間から30分でも遅くなったら心配します。だから、警察に電話することもありますよ。帰る時間は必ず守りなさい。」**ということ、いつもくどいほど話していくことは大切です。

29名全員が、大きなけがや病気のない、安全安心で充実した夏休みを過ごせますように願っています。